

## 平成 8 年度事業報告

### 1. 事業の状況

#### (1) 基本方針

本年度の資金運用環境は予想以上に厳しいものであった。景気低迷の経済環境下、超低金利政策が持続されたため、預金・信託・公社債等の長期金利は史上最低水準となったが、本基金の基本財産運用収入は予算額に比し微減にとどまった。即ち、本年度も基本財産の中、大口定期預金・貸付信託より2億円を公社債投資信託に運用替えする等、資金運用効率の向上を図った外、事務費の節減に努めた結果、助成事業については国内の自然環境の保全に資する活動・調査研究および海外の調査研究に対し、件数27件、助成金額3,400万円（本年度計画値30件、3,400万円）の交付が実施出来た。

#### (2) 国内の活動助成関係

(財)日本自然保護協会との共同公募事業(P.N.ファンド第7期助成)および本基金が独自に行なう活動事業に対して、8件、515万円の助成を行なった。

#### (3) 国内の調査研究助成関係

(財)日本自然保護協会との共同公募事業(P.N.ファンド第7期助成)と(財)日本自然保護協会、(財)世界自然保護基金日本委員会および本基金が独自に行なう調査研究事業に対し、12件、1,778万円の助成を行なった。

#### (4) 海外の調査研究助成関係

(財)日本自然保護協会との共同公募事業(P.N.ファンド第7期助成)と本基金が独自に行なう海外の調査研究事業に対し、7件、1,107万円の助成を行なった。

#### (5) その他の事業関係

イ. 第2回 P.N.ファンド助成成果発表会を下記のとおり実施した。

日 時：平成8年12月7日(土)

場 所：青山こどもの城

発表者：17名

参加者：65名

ロ. 海外助成先フィールド調査指導のために役員、研究者を派遣した。

助 成 先：地球の友・日本

助成テーマ：極東ロシア森林ホット・スポット・プロジェクト

出張者：\*大場 達之(本基金理事)

出張先：サハリン・ナビル山嶺

\*沖津 進(千葉大学・助教授)

出張先：ハバロフスク州アニューイ川流域

なお、上記事業内容(2)～(4)の各助成事業の詳細は附表のとおりである。

**平成 8 年度収支計算書**  
平成 8 年 4 月 1 日から平成 9 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>I. 収入の部</b>				
1. 基本財産収入	0	0	0	
2. 基本財産運用収入	53,800,000	52,653,179	1,146,821	運用利回り低下
3. 運用財産収入	0	0	0	
4. 運用財産運用収入	100,000	25,842	74,158	
5. 雑収入	0	306,604	△ 306,604	過年度助成金返戻修正益(繰前千鶴)
当期収入合計 (A)	53,900,000	52,985,625	914,375	
前期繰越収支差額	10,656,619	10,656,619	0	
収入合計 (B)	64,556,619	63,642,244	914,375	
<b>II. 支出の部</b>				
1. 事業費	36,000,000	36,684,221	△ 684,221	
活動助成	8,000,000	5,150,000	2,850,000	
調査研究助成	20,000,000	17,780,000	2,220,000	
海外調査研究助成	6,000,000	11,070,000	△ 5,070,000	極東ロシア森林H. S. P400万 円外
人材育成助成	0	0	0	
調査研究委託助成	0	0	0	
その他の事業助成	0	0	0	
事業管理費	2,000,000	2,684,221	△ 684,221	シバリア、サハリン出張 経費節減
2. 管理費	20,000,000	18,646,867	1,353,133	
人件費	13,000,000	12,348,438	651,562	
事務費	7,000,000	6,298,429	701,571	
3. 特定預金支出	400,000	400,000	0	
退職給与積立預金支出	400,000	400,000	0	
4. 予備費	500,000	0	500,000	
5. 基本財産繰入金	0	0	0	
当期支出合計 (C)	56,900,000	55,731,088	1,168,912	
当期収支差額 (A) - (C)	△ 3,000,000	△ 2,745,463	△ 254,537	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	7,656,619	7,911,156	△ 254,537	

**正味財産増減計算書**  
平成8年4月1日から平成9年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
(1) 資産増加額		
当期収支差額	△ 2,745,463	
退職給与積立預金	400,000	△ 2,345,463
増加合計額		△ 2,345,463
II. 減少の部		
(1) 負債増加額		
退職給与引当金繰入額	400,000	400,000
減少合計額		400,000
当期正味財産増加額		△ 2,745,463
当期期首正味財産額		2,010,656,619
期末正味財産合計額		2,007,911,156

貸借対照表  
平成9年3月31日現在

(単位：円)

科 目	額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	2,848,468		
未収収益	19,254,411		
流動資産合計		22,102,879	
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	100,000,000		
有価証券	1,900,000,000		
基本財産合計	2,000,000,000		
(2)その他固定資産			
什器備品	396,995		
電話架設権	149,968		
退職給与積立預金	1,600,000		
その他固定資産合計	2,146,963		
固定資産合計		2,002,146,963	
資産合計			2,024,249,842
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	14,563,000		
預り金	175,686		
流動負債合計		14,738,686	
2. 固定負債			
退職給与引当金	1,600,000		
固定負債合計		1,600,000	
負債合計			16,338,686
III. 正味財産の部			
正味財産			2,007,911,156
(うち基本金)			(2,000,000,000)
(うち当期正味財産増加額)			(△ 2,745,463)
負債及び正味財産合計			2,024,249,842

# 財 産 目 録

平成9年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額	備 考
I. 資産の部		2,024,249,842	
1. 流動資産		22,102,879	
①定期預金			
さくら銀行渋谷支店			
②普通預金			
さくら銀行渋谷支店	2,770,949		
三井信託銀行八重洲口店	24,054		
③現金	53,465		
④未収収益	19,254,411		経理運用収入
2. 固定資産		2,002,146,963	
(1) 基本財産			
①定期預金			
さくら銀行渋谷支店	100,000,000		
②有価証券			
三井信託銀行八重洲口店	100,000,000		
日本興業銀行	1,000,000,000		貸付信託 利付興業債
和光証券	800,000,000		公社債投信
(2) その他の固定資産			
①什器備品	396,995		
②電話架設権	149,968		
③退職給与積立預金			
三井信託銀行八重洲口店	1,600,000		
II. 負債の部		16,338,686	
1. 流動負債		14,738,686	
①未払金	14,563,000		事業費
②預り金	175,686		源泉所得税・社会保険
2. 固定負債		1,600,000	
①退職給与引当金	1,600,000		
正味財産 合計( I - II )		2,007,911,156	

## 平成9年度事業計画

### (1) 基本方針

本年度の国内経済情勢は前年度同様景気混迷状態が続くものの、秋以降やゝ上向くことが期待されるが、資金運用環境は引続き長期・短期共に超低金利水準が持続されるものと思われる。

従って、本基金の基本財産運用収入は昨年度ほど横這いと予測される。支出面においては、かかる状況下ではあるが、助成事業については国内活動・調査研究・海外調査研究の3助成部門につき、昨年度と同規模(3,400万円)の助成を実施する。また、事務管理部門では将来の業務処理の増大化およびコミュニケーションの円滑化にそなえ、本年度より2年計画でパソコン導入をはかる予定であり、その負担増のため人件費・事務費については一層の削減に努める。

### (2) 事業の内容

#### 1. 国内の活動助成関係

前年度同様国内外の自然保護団体との提携および協力により自然環境の保全に資する活動に対し助成金を交付する。

10件 700万円

#### 2. 国内の調査研究助成関係

前年度同様各大学の自然保護関連学部・研究機関および(財)日本自然保護協会・(財)世界自然保護基金日本委員会をはじめ、国内外の自然保護団体との提携および協力により、自然環境の保全に関する調査研究に対する助成金を交付する。

15件 1,700万円

#### 3. 海外の調査研究助成関係

本基金の海外助成の実績累計は、22件、4,063万円、対象国(発展途上国)11ヶ国に及んでいる。本年度も引続き各大学の自然保護関連学部・研究機関および国内外の自然保護団体との提携および協力により、諸外国の自然環境の保全に関する調査研究団体および研究者を対象とする助成金を交付する。

7件 1,000万円

以上 1. 2. 3. の助成合計 32件 3,400万円

#### 4. その他の事業関係

P. N. ファンド助成成果発表会を定例的に実施する外、基金自主事業の成果発表会の実施を予定する。

#### 5. パソコン導入について

本基金では次の理由より2年計画(1997~1998)でパソコンの導入をはかる。

イ. 情報の蒐集・発信等において官庁および本基金関係先とのインターフェースの円滑化をはかる。

ロ. 情報量の少ないうちに今後蓄積される情報・データの増大化にそなえる。

ハ. 現在手作業の内部事務もパソコン利用が可能かつ便利なものは極力活用をはかる。

以上

# 平成9年度 収支予算書

平成9年4月1日から平成10年3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成9年度予算	平成8年度予算	差 異
<b>I. 収入の部</b>			
1. 基本財産収入	0	0	0
2. 基本財産運用収入	53,500,000	53,800,000	△ 300,000
3. 運用財産収入	0	0	0
4. 運用財産運用収入	100,000	100,000	0
5. 雑収入	0	0	0
当期収入合計 (A)	53,600,000	53,900,000	△ 300,000
前期繰越収入差額	7,911,156	10,656,619	△ 2,745,463
収入合計 (B)	61,511,156	64,556,619	△ 3,045,463
<b>II. 支出の部</b>			
1. 事業費	36,000,000	36,000,000	0
国内活動助成金	7,000,000	8,000,000	△ 1,000,000
国内調査研究助成金	17,000,000	20,000,000	△ 3,000,000
海外調査研究助成金	10,000,000	6,000,000	4,000,000
人材育成助成金	0	0	0
調査研究委託助成金	0	0	0
事業管理費	2,000,000	2,000,000	0
2. 管理費	17,700,000	20,000,000	△ 2,300,000
人件費	11,000,000	13,000,000	△ 2,000,000
事務費	6,700,000	7,000,000	△ 300,000
3. パソコン開発費	1,000,000	0	1,000,000
4. 特定預金支出	400,000	400,000	0
退職給与引当金支出	400,000	400,000	0
5. 予備費	500,000	500,000	0
当期支出合計 (C)	55,600,000	56,900,000	△ 1,300,000
当期収支差額 (A) - (C)	△ 2,000,000	△ 3,000,000	△ 1,000,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	5,911,156	7,656,619	△ 1,745,463